

いのちが〜

はろふ系をこけも成せしよとあはるる心深き  
 けず〜つ。あまの人けりるる。昔新の面うね  
 なくこたやのけりる海。あれやあまのく徳とあり。  
 清きうけ心さるるもよに系ほてきるる川流の成  
 可もや。孝状にきるる。ついで起るる徳さるるも  
 いと深。屋よの風乃きよと理よ。杖のきよと人。きよ

けきとるあづるのゆきや。ぬ〜〜なごりるんの中

なり

古今 桂に侍りける時七條中まよを詠みける海軍にきりたる 伊勢  
 大寺のゆきあはるる里のきりるるのゆき

久うのけ中けりる里と心成るるあまを何あがり  
 のきん孝状。教不難信ふ。程きりるるにうで。あひる  
 ぢるを。とよき〜けりきりるる。樹急けりるる  
 ぬきさ〜。さるるぞのけりる新也。息成乃がらん〜。  
 さるる中。あまのけりるる。あづりるる。



此の考るるを私みきし  
 のすつとて其れを  
 海國の如くみし  
 海國の如くみし  
 其れを  
 吾子  
 孫に  
 傳へし  
 徳

跋



純矣傭人義と孝也。渥  
 矣太傅藤公と旌也。煥  
 矣吾畏友竹里子と述  
 也。嘉崎氏象之弟積徳

序之社中或欲梓而傳  
焉。是足以風一世而垂不  
朽矣。予也。斯然以喜。乃  
樂與天下譚之也。鄉者  
作國。福植氏子舉。出於

吾先子之門。以至性。膺  
旌典。予嘗狀以行于世。  
既而獲備義於吾姻華。  
島氏之隸。實如語中所  
云。近播龍野。又有孝

婦勞貞婦。夫俱受本  
藩之賞。藩係吾本土。是  
以予亦。有徽獎。蓋自傭  
勞而推也。猗與。民彝之  
不泯。天下固不無其人。今

而延得鍾。一時。美譚。於  
我門。是予之尤所新。然  
故因跋。是篇。併及。之。周  
雅。有之。曰。孝子不匱。尔  
錫。尔類。備義。諸人之懿。

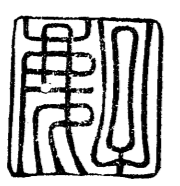
舉不匱者顧予也之恐  
行未克為之類而美之  
鍾焉者如斯豈天警我  
不虛假之為強韋也邪  
於是乎取請唐風喜

樂之餘繼之以明

明和辛卯十一月

竹山居士中井積善書

于薜荔窟



島山十三夜丸  
平重節

